

根上中だより



E-mail neagari-jhs@school.city.nomi.ishikawa.jp

HP <https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/neagari/>

発行者 根上中学校校長

横関 達人

TEL 0761-55-0160

FAX 0761-55-0456

■立会演説会にて

○立会演説会での候補者の思いに共感！

6月15日（水）、後期生徒会の役員を決める立会演説会並びに選挙が行われました。すべての立候補者がしっかりと自分の思いを表現しており、とても頼もしく感じました。以下に会長、副会長候補2名の演説の一部分を紹介します。



- ・(立候補した理由は)コロナ禍とともに歩んできたこの中学校生活の中で、生徒会役員の方たちが全校を盛り上げようと様々な企画や工夫をしている姿を見て、私もその一員となり、次は私が根上中や後輩のみんな、先生方に恩返しをし、根上中をもっと盛り上げていきたいと思ったからです。
- ・変えられないのは過去と他人、変えられるのは未来と自分です。私だけでは変えられない学校を、皆さん全員の力で最高の方向に変えていきましょう。

私は、ブロック大会の壮行会の中で、「感謝の心をもって大会に臨んでほしい」と生徒に伝えました。感謝の心をもつためには、恩返しをしたい人を心に思い浮かべると良いと思ったからです。その人たちにどうして恩返しがしたいのか、どのような恩返しができるのかを考えることで、感謝の心がより強く明確になると考えます。「恩返しがしたい」と演説で述べた生徒の言葉に感心し、嬉しく思いました。

もう一人の候補者である生徒の言葉、「変えられるのは未来と自分」にも感心しました。私は話の中で、「大変」という言葉をよく取り上げます。「大変＝大きく変わるとき」であり、「教育観や人生観を振り返り、時にはそれらを変えるとき」でもあります。ただ、自分を変えるのは自分だけだとも伝えていきます。どんなに他人の言葉に感銘を受けたとしても、それはきっかけに過ぎません。「自分が変わった」と感じたならば、それは自分自身の決断や意思からだからです。生徒が述べたように、私も「変えられるのは自分」だけだと考えます。

私たち大人は、生徒により良く変わってほしいと願い、いろいろな場面で言葉かけをしています。私は、生徒が変わるためにも、彼らが納得する言葉かけをしたいといつも考えています。そのためには、彼らが行動に至る背景を理解しなければと感じています。最近読んだ大久保 寛司氏の「あり方で生きる」がとても参考になりました。要約して以下に記載します。何かの参考になれば幸いです。

- ・「なんで、そんなことをするの?」「なんで、こんなこともできないの?」。よくある話です。でも、相手の立場にたったら、そうする理由が必ずそれなりにある。その理由には、身勝手、わがまま、非常識という場合もある。正しいかどうかは別にして、必ず理由がある。その理由をしっかりと理解すること。理由を理解し、相手の気持ちになって、一言声をかけること。
- ・相手の気持ちを理解していない時、正しい言葉に説得力はない。相手には必ず、そうする理由がある。その奥深い本当の想いを理解して、それを言葉にして、相手に向き合っていく。そうすると、信じられないくらい、人は変わる。変えようとするのではない、相手が変わる。人は理解された時、変わる。

■加賀地区ブロック大会について

○加賀地区ブロック大会・陸上県大会・吹奏楽中部日本の壮行会をリモートで開催!

6月16日(木)、生徒会がリモートで壮行会を開催しました。大会に臨む各部の意気込みを、キャプテンや部長が語りました。生徒会と校長から激励の言葉をおくりました。生徒玄関には、1・2年生から3年生への応援メッセージが掲載され、大会に臨む気持ちを鼓舞してくれました。” いいねえー1・2年生!”



○大会、無事に終了!

各会場で熱戦が繰り広げられました。県体出場が決まった生徒には、今大会の経験を活かし、県体に向けてさらに心と技を磨いてほしいと考えます。残念ながら悔しい結果に終わってしまい、部活動を終える生徒には、気持ちをしっかりと切り替えて、これからの学校生活を充実させてほしいと考えます。



大会の結果につきましては、6月23日付け「令和4年度加賀地区中学校体育大会の結果について」をご覧ください。保護者の皆様におかれましては、これまで様々な形で部活動にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。大会を振り返り、お子様と語り合ってくださいことで、生徒の心の成長につながるのではないかと考えています。

